

5県合同オンライン研修

探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト

東京学芸大学高校探究プロジェクト連携

わくわく
チーム

東京学芸大学高校探究プロジェクト・広島県立教育センター
青森県総合学校教育センター・鳥取県立教育センター
大分県教育庁高校教育課・沖縄県立総合教育センター

探究的な学びについて

地域を超えて学び合い、“わくわく”や“もやもや”を共有しませんか？



第3回 テーマ
実践発表あり！問いたい問いを問う
「教科における探究」

令和7年10月23日（木）実施



研修報告

第3回は、沖縄県（科目：物理）における探究の実践発表を行いました。また、東京学芸大学の西村圭一教授と藤村祐子准教授の講話を通して、参加者が「問い」を通してつきたい力を検討し、「問い」の役割などを改めて捉え直すワークを行い、深い学びの機会となりました。

参加者は、都道府県の垣根を越えて、
下記のワークで「問い」の役割を
捉え直しました。

「科学的に探究する力」を育む
物理授業の工夫

- 「本時の問い」を活用した
「探究の過程」を通して -

ワーク①「地震という言葉からどんな『問い』が思い浮かびますか？」

■各教科の見方・考え方を働かせた『問い』を考える

ワーク②「実践発表から得た学びや気づきをどのように生かす？」

ワーク③「見つめ直そう！『問い』はなんのために立てますか？」

■生徒の思考を促す問いを分類、整理する

- ・事実に関する問い
- ・議論を喚起する問い
- ・概念的な問い

■『問い』を探究するための授業デザイン

- ・内容（生徒に知ってほしいこと）
- ・スキル（生徒にできるようになってほしいこと）
- ・つきたい力（生徒に育成したい資質・能力）

沖縄県立真和志高等学校
教諭 濱元良人

各科目における探究活動の実践報告として、理科（物理）の授業における探究活動を、沖縄県の濱元良人先生がオンライン上で発表を行いました！

詳しい実践内容は下記のURLをご参照ください。
沖縄県の先生方が教育現場で実践している研究が、
複数紹介されております！ぜひご覧ください！！

→ <http://kyosys2.open.ed.jp/2024/2024.html>

次回予告

第4回

「与えられる学び」から
「共に考えを

創り出す学び」へ！！

一步先を目指す！

学校教育における

探究の実装化

【開催日時】

令和8年1月29日（木）

13:30～16:30

実施形態：オンライン



申込みは
こちらへ
←アクセス

実践発表から得た学びや気づきをどのように生かす？

～参加者のワークより～

参加者①

- ・生徒が道具を使って自ら解決策を見つけ、実感しながら答えを導けるようにしたい。

参加者②

- ・試行錯誤できる環境が重要であることを理解できた。
- ・生徒が興味を持つ「問い」の設定が必要だと実感した。
- ・生徒同士が情報を共有し、協働的に学び合える「問い」を意識できるようにしたい。

参加者③

- ・実験を通じて自ら確認できる。
- ・全て正解の問いで自己肯定感を高められると感じた。なぜすべて正解なのかという次につながる問いも生徒自身から生まれる可能性も考えられる。
- ・楽しさを感じる環境を設定するようにしたい。

参加者④

- ・生徒が納得できる「問い」の設定をできるようにしたい。

参加者⑤

- ・仮説が立てやすい「問い」の設定を大切にしたい。